

# HackOsaka

## 2022

国際イノベーション会議 Hack Osaka 2022 報告

<https://www.innovation-osaka.jp/hackosaka/index.php>

◆日時 2022年2月10日(木)13:00~19:00

◆開催形式

リアル(招待制):ナレッジシアター(グランフロント大阪北館4階)

オンライン:オンライン(EventHub)、2022年3月31日までアーカイブ配信

\*<すでに視聴申し込みをいただいている方>\*

▽Hack Osaka 2022 コンテンツ視聴・交流プラットフォーム ログイン URL

<https://client.eventhub.jp/login/KYW1FrX3m>

\*<未登録の方>\*

3月末のEventHubクローズまで、新規アカウント登録のうえアーカイブ視聴していただけます。

▽Hack Osaka 2022 REGISTER ページ

<https://www.innovation-osaka.jp/hackosaka/register.php>

◆主催 国際イノベーション会議 Hack Osaka 実行委員会

(大阪市、公益財団法人都市活力研究所、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部、公益財団法人大阪産業局)

◆共催 大阪外国企業誘致センター(O-BIC)、一般財団法人大阪国際経済振興センター(IBPC 大阪)

◆協力 株式会社MBSメディアホールディングス、株式会社電通

◆後援 大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、駐日イスラエル大使館経済部、シンガポール共和国大使館、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、在名古屋ブラジル総領事館、在大阪・神戸米国総領事館

◆参加者:内外の起業家や投資家、企業の新規事業開発者、学生、研究者、メディア等

●オンライン視聴申込者数(2022年2月28日時点):801名

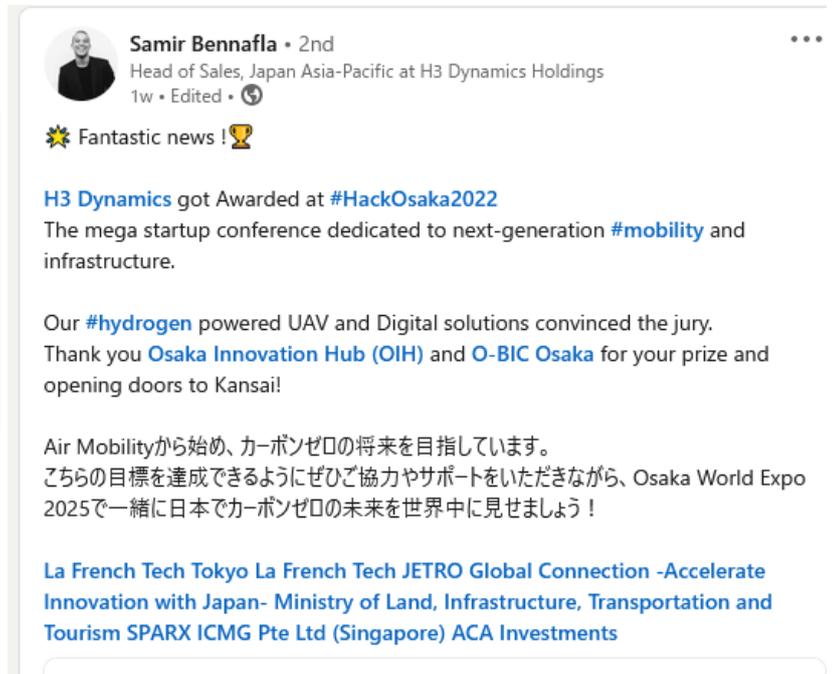
●リアル会場来場者数:67名

タイムテーブル (日英同時通訳)

時間	プログラム	登壇者
13:00	Opening Act	松井 一郎 大阪市長
	Theme Session 1	佐藤 剛裕(株式会社 SkyDrive 取締役 COO)
13:10	大阪から始まる次世代の移動 人がもっとつながる未来へ	田中 大輔(株式会社ティアフォー 取締役 COO) 手嶋 耕平(公益財団法人大阪産業局 IoT・RT ビジネス推進部 部長)
14:10	Special Talk	稲垣 裕介(株式会社ユーザベース 代表取締役 Co-CEO / 株式会社ニュースピックス 代表取締役 Co-CEO 伊庭野 健造(大阪ヒートクール株式会社 代表取締役)
14:35	Theme Session 2 産学融合の聖地 大阪・関西を目指して	関西イノベーションイニシアティブ [KSII] 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション [KSAC] 吉川 正晃(Human Hub Japan 代表/ 阪急阪神不動産(株) 顧問(元: 大阪市経済戦略局理事)) 吉澤 宏大(川崎重工業株式会社 企画本部 イノベーション部 主事補)
15:25	Reverse Pitch 大阪・関西を代表する企業の共創ニーズ、大阪・関西万博がフォーカスする分野とは…?	岡田 光正(ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター CVC 室) 富重 真帆(南海電気鉄道株式会社 イノベーション創造室 新規事業部) 坂本 りっか(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 経営企画室 課長代理)
16:35	Hack Award 2022(前半) 次世代モビリティ・インフラ分野を中心とした、国内外スタートアップ 10 社がビジネスプランを披露!	登壇するスタートアップは
17:25	Break Session Hack Award 2021 登壇後、大阪にランディングしたシンガポール発のフードテックスタートアップが登場!	Josh Grengs(CRUST JAPAN 株式会社 Operations Manager)
17:40	Hack Award 2022(後半) 次世代モビリティ・インフラ分野を中心とした、国内外スタートアップ 10 社がビジネスプランを披露!	登壇するスタートアップはコチラ
18:35	Hack Award 2022 表彰式 ~Closing	

## 【O-BIC 賞】 [H3 Dynamics](#)(シンガポール)

デジタル化、自律運航関連のソリューション、水素駆動による自律飛行の推進という 3 段階の アプローチで、脱炭素を可能にする先進的なエアモビリティを開発。同社のインフラ外観検査の AI 解析ソリューションでは、80%の時間短縮、50%のコスト削減、作業者のリスク 0、精度 20%向上を実現する。



## 【Hack Award 2022 金賞】[HeyCharge GmbH](#)(ドイツ)

マンション、オフィス、ホテルなどに存在する(インターネットアクセスの無い)屋内駐車環境での充電インフラの拡張性を高め、誰もが手軽に電気自動車を充電できるようにする技術を構築。現地でのインターネット接続は不要。対応デバイスでは、Bluetooth を介してアプリまたは SDK と直接通信することで、システムを利用することができる。

## 【KGAP+賞】 [Sharper Shape Inc.](#)(アメリカ)

公共インフラ向けに最高クラスのデータとハイコンテキストなデジタルツインを作成することができる、AI によるエンドツーエンドの統合技術一式を提供。公益事業者が主要なリスク要因に対処し、リスクベースの事前対応型資産管理システムへ移行できるよう支援することに注力している。

## 【大阪・関西万博/JETRO 大阪本部賞】 [MobyFly](#)(スイス)

21 世紀における大量輸送の最前線に立ち、将来の水陸輸送を変えるべく、高速で効率的なゼロエミッションの水中翼船を設計する。時速 70km 以上のスピードで、最大 300 人の乗客を快適に水上輸送することができ、現在のディーゼルフエリーに比べて最大 70%少ないエネルギーで航行することが可能。